

合同容器

企画提案力を強化

同社では、顧客に信頼される製品作りを企業理念に置き、独自の品質方針である「私たちは顧客に満足いただけるよう品質と技術の向上に努めます」を掲げている。

同社ではこの品質方針の実現のために、最新鋭機の導入による品質と生産性の向上を図るとともに、ISO9001による品質マネジメントシステムの継続的改善、組織改革による業務の効率化、グループウェア導入などに積極的に取り組んでいる。

また、顧客からのような相談にも答えられるよう「包装管理士」等の資格取得を奨励するなど、常に包装関係のプロフェッショナルとしての資質を高める努力を継続している。

3年前には「企画営業



杉崎儀雄社長

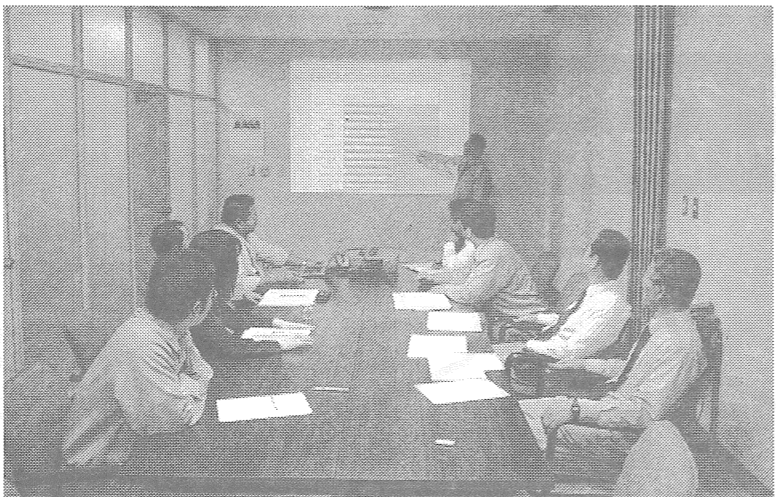
合同容器（本社・恵庭市、杉崎儀雄社長）は、1908（明治41）年に函館市で創業。戦後間も

また、同社ではCS（顧客満足）アンケート調査を定期的を実施し、営業担当者を中心にそのフォローアップに努めている。その分析結果やアンケート調査から浮き彫りになる顧客ニーズ、課題などについては全社的に情報共有し、それぞれの業務革新、新たな企画提案などに活用している。

一方、ES（従業員満足）調査も行っている。これによって、各部門での課題や問題点などを明らかにするとともに、全社的な情報の共有化を図りながら、組織風土の改革や業務改善などに活かしている。

「CS（顧客満足）だけが向上し、ES（従業員満足）はそのまま、ということでは現実的ではありません。CSとESの両

経営品質向上プログラム導入 CS・ES向上の両立を目指す



合同容器では経営品質向上活動を全社的に推進している（社内のCS会議）

部」を新設した。顧客ニーズの把握に努めることにも、企画提案力の強化によって他社との差別化を図っていく方針だ。

同社が近年、特に力を入れているのが、顧客満足向上への取り組みだ。品質マネジメントシステムの一層のスパイラルアップを図るため、経営品質向上プログラムを導入し、現在、全社的な基盤づくりを行っている。

その一環としてセルフアセッサの養成に取り組んでおり、外部の研究

また、同社ではCS（顧客満足）アンケート調査を定期的を実施し、営業担当者を中心にそのフォローアップに努めている。その分析結果やアンケート調査から浮き彫りになる顧客ニーズ、課題などについては全社的に情報共有し、それぞれの業務革新、新たな企画提案などに活用している。

一方、ES（従業員満足）調査も行っている。これによって、各部門での課題や問題点などを明らかにするとともに、全社的な情報の共有化を図りながら、組織風土の改革や業務改善などに活かしている。

「CS（顧客満足）だけが向上し、ES（従業員満足）はそのまま、ということでは現実的ではありません。CSとESの両

ない1952（昭和27）年に事業転換し、段ボールの製造・販売をスタートした。

以来、半世紀以上にわたる地域に密着した企業活動を展開しており、現在、主力事業の段ボール製品では2万種類以上に及ぶ製品を供給している。

組んでおり、外部の研究

▽本社||恵庭市北柏木町3丁目39番||URL||<http://www.godoy-oki.co.jp>